

第23回プラスチック成形加工学会秋季大会 「ゲンカイに挑む九都で成形加工」

情報 URL <http://www.jspp.or.jp/kikaku/sympo/index.html>

第23回の秋季大会は福岡県福岡市で開催いたします。本秋季大会では、「ゲンカイに挑む九都で成形加工」と銘打ち、プラスチック成形加工発展の鍵となる研究発表と議論の場を提供します。行事内容として、2件の特別講演、4分野の特別セッション、一般セッション、地域セッション、ポスターセッション、懇親会などを予定しています。

みなさまの積極的なご参加をよろしくごお願い申し上げます。なお詳細は、学会 Web サイトにて逐次お知らせさせていただきます。

1. 日 時：2015年11月2日(月)、3日(火)

2. 会 場：福岡大学 11号館, 14号館, 1号館

〒814-0180 福岡市城南区七隈8丁目19-1

■福岡空港から

・地下鉄空港線/福岡空港駅→(天神で地下鉄七隈線に乗換)→地下鉄七隈線/七隈駅(乗り換えを含め約50分)

■博多駅周辺から

・地下鉄空港線/博多駅→(天神で地下鉄七隈線に乗換)→地下鉄七隈線/七隈駅(乗り換えを含め約40分)

■天神周辺から

・地下鉄七隈線/天神南駅→七隈駅(約15分)

☆福岡空港、博多駅からは地下鉄が便利です。各駅から姪浜(または筑前前原)行に乗車し、天神で七隈線に乗り換え*。

天神南駅から橋本行に乗車し、七隈駅**で下車。総合受付まで徒歩5分。

*七隈線(天神南)への乗り換えは、地下街を通り、徒歩10分程度かかります

**福大前下車の場合、総合受付まで徒歩10分

会場への交通アクセス詳細は福岡大学ホームページの「交通アクセス」

<http://www.fukuoka-u.ac.jp/help/map/> または、工学部ホームページの「工学部へのアクセス」<http://www.tec.fukuoka-u.ac.jp/faculty/access.htm> をご参照ください。

3. 主 催：プラスチック成形加工学会

4. 協 賛(予定)：福岡大学、化学工学会、型技術協会、強化プラスチック協会、高分子学会、自動車技術会、精密工学会、繊維学会、全日本プラスチック製品工業連合会、日本機械学会、日本合成樹脂技術協会、日本ゴム協会、日本材料学会、日本接着学会、日本繊維機械学会、日本塑性加工学会、日本バイオプラスチック協会、日本複合材料学会、日本プラスチック機械工業会、日本レオロジー学会、マテリアルライフ学会、SPE 日本支部、福岡県プラスチック工業会、高分子学会九州支部

5. 内 容(予定)：

5.1 特別講演

・学術講演

「二分子膜とナノ薄膜」

公益社団法人 北九州産業学術推進機構 理事長 國武 豊喜 先生

・文化講演

「博多人形の成り立ちと伝統工芸品への道のり～創意・工夫の歴史～」

経済産業大臣指定 伝統的工芸品博多人形

博多人形商工業協同組合 副理事長

小副川 雄二 先生

5.2 特別セッション

(以下、【 】内はセッションオーガナイザー)

・特別セッションI

「界面・コーティングの微視的な理解と制御」

【新戸浩幸(福岡大学)、山村方人(九州工業大学)】

成形加工と印刷・コーティングとを組み合わせる新しい電気、光学、粘接着等の特性を発現させる技術は、高い関心を集めています。しかし、試行錯誤に頼ることなく最適な界面状態や機能層内の微視的成分分布などを決定するには、高い技術的ハードルがあります。

本セッションでは、工業材料から生体材料まで幅広く界面に関する発表を募り、界面の評価法、コーティング、接合から新しい接着技術まで総合的に議論する場と致します。

・特別セッションII

「バイオマス利用と成形加工の接点」

【松松幹二(福岡大学)、巽大輔(九州大学)、萩原昌彦(宇部興産株式会社)】

持続可能社会の実現に向けて、バイオマスの利用

に注目が集まっていることは周知のとおりです。しかしながら、バイオマスの代表例であるリグノセルロースをはじめ多くのバイオマスは熱可塑性を示さず、従来の成形加工とは相容れない材料ともいえます。そこで、さらなるバイオマスの利用拡大に向けて、バイオマス利用における成形加工の役割を議論したいと思います。またその一方で、バイオマス生産において自然自身が培ってきた“加工法”に目を向け、それを成形加工技術に生かせないかという観点でも議論してみたいと思います。思いつくままのキーワードは、WPC、ベレット、竹、楽器、段ボール…など枚挙に暇がありません。多くの研究者・技術者の皆さんの分野を超えた議論に参加しませんか！？

・特別セッションⅢ

「ゲンカイを突破するためのリサイクル新技術」

【中谷久之(長崎大学), 田中毅(新興産業株式会社)】

昨今は、リサイクルの重要性が叫ばれて久しく、未だ関心も高い状況です。現在は製品の設計段階でリサイクル性を考慮するのが当たり前となっています。しかしながら実現に伴い、経済性を中心としたリサイクルに関する現技術の限界も見えてきている現状にあります。本セッションでは、広くリサイクル技術に関する発表を募り、リサイクルの現状と問題点及びその解決の糸口となる技術に関する議論の場を提供したいと考えています。

・特別セッションⅣ

「ゲンカイに挑む成形加工、金型と周辺機器の可能性を極める」

【森直樹(九州工業大学), 楢原弘之(九州工業大学), 前田修一(山口大学)】

近年、付加製造技術の進展に伴い金型造りも大きな変革期を迎えつつあります。また成形加工には様々な場面で限界に挑むことが求められています。従来から北部九州地区には精密金型を創り出す素地があります。これまで培った精密加工技術と新しい金型造り・周辺機器の組み合わせにより、成形加工の限界がより高度なものになろうとしています。そこで、この金型及び周辺機器におけるユニークな取り組みを語り合いたいと思います。

5.3 一般セッション

1. 射出成形
2. 押出成形・混練
3. ブロー成形・熱成形
4. 紡糸・フィルム成形
5. 熱硬化成形・反応成形
6. 超臨界流体・発泡流体
7. マイクロ・ナノ成形
8. アロイ・ブレンド・複合材料
9. 工業レオロジー
10. 成形機・周辺技術
11. 二次加工
12. 構造・物性・評価
13. CAE
14. その他

5.4 地域セッション

【井出誠二(福岡県工業技術センター), 賀籠六涼子(福岡県商工部), 大田修明(福岡大学)】

九州・中国地区を地盤として、成形加工および関連分野で優れた技術を有する企業が一堂に会するセッションを予定しています。

5.5 ポスターセッション

【田上秀一(福井大学), 森山茂章(福岡大学), 吉原直記(福岡大学)】

本大会も、発表者と大会参加者の活発なコミュニケーションの場として、ポスターセッションを設けます。また、審査委員の審査により優れた若手ポスター発表(2015年4月1日現在で35才以下)を対象としたポスター発表に対して「ベストポスター賞」の表彰を行います。皆様のご参加をお待ちしております。

6. 講演申込等のスケジュール(予定):

- ①講演申込締切: 2015年7月3日(金)
- ②前刷原稿締切: 2015年9月11日(金)
- ③事前参加申込締切: 2015年10月16日(金)

7. 問い合わせ先:

第23回プラスチック成形加工学会秋季大会(成形加工シンポジウム'15福岡)実行委員会

E-mail: sympo2015@jspp.or.jp

委員長: 八尾 滋(福岡大学)

代表幹事: 中野 涼子(福岡大学)